

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラム vol. 54 関西福祉科学大学 山田富美雄先生

1) 学会からのお知らせ (<http://jahp.wdc-jp.com/>)

■受動喫煙防止対策を強化・実現のための署名への協力のお願いについて(事務局より)

本学会が加盟している健康日本21推進全国連絡協議会より、日本医師会による「受動喫煙の防止対策を強化・実現するための署名のお願い」が届きました。

本学会は国民の健康の観点から、禁煙への取り組みを推進しております。

今回の署名につきましても、学会として協力したいと考えております。

つきましては、会員の皆様やその周囲の方々への署名をお願いいたします。

署名用紙を印刷していただき、ご署名していただき、本学会事務局までご返送いただけますよう、お願い申し上げます。

送付期限：6月26日(月)必着

詳しくは<http://jahp.wdc-jp.com/news/news.html#a170519>

■早稲田大学人間総合研究センター・シンポジウムのご案内(事務局より)

本学会が後援するシンポジウムのご紹介です。

「予防的メンタルヘルス対策 一次予防からポジティブ・メンタルヘルスの強化まで」

日時：2017年7月9日(日) 13:00-17:00

会場：早稲田大学早稲田キャンパス 8号館 B101 教室

詳しくは<http://jahp.wdc-jp.com/news/news.html#a170519>

■日本健康心理学会第30回記念大会(明治大学)

大会ホームページにおいて、以下の内容が更新されました。

- ・非会員連名発表者の審査について
- ・発表申込・会員企画シンポジウム申込の受付を締め切りました
- ・事前参加申込の受付を締め切りました

詳しくは<http://jahp.wdc-jp.com/conf/30th/index.html>

2) 健康心理学コラム Vol. 54

「2つのPPI」

(関西福祉科学大学心理科学部 学会常任理事(研修担当)・副理事長 山田富美雄)

健康心理学と生理心理学が私の専門だと言い始めて25年になります。

当初は健康づくりのための心理介入という実践研究は「健康心理学」、人の心のはたらきを脳波や筋電図などで測定する基礎研究は「生理心理学」と言い切り、自分は独立した2つの研究領域の専門家だと自己紹介文に記載していました。

それが数年のうちに統合を始めました。

健康心理学と生理心理学の融合です。

ストレスバイオマーカーの開発という研究領域に接し、PNI(psychoneuro immunology)研究を開始したのが発端でした。ストレスマネジメントという介入研究のための基礎研究として生理心理指標を測定評価しはじめたのです。

また40年来の研究テーマ「驚愕性瞬目反射の先行微弱刺激による抑制効果」がPPI(prepulse inhibition)と名を改め、統合失調症の症状把握の道具として医学分野で認められました。

私も禁煙によるPPIの変容研究に関わり、また発達障がいスクリーニングにも利用できそうだったので臨床心理や健康心理の実践分野にPPIを利用する研究計画をたてています。健康心理学と生理心理学が統合する分野こそ我が研究領域です。

さらに「ポジティブ心理学による介入」を意味するpositive psychology interventionにもPPIという略語があてがわれており、私もその研究に携わっています。

そして遂に、人々を幸せに導くための心理的介入の評価を、生理心理学の立場から行う道もみえてきました。

健康心理学と生理心理学がつなぐ2つのPPIのいずれにも関わっている自分に少し誇りを抱いている昨今です。

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更は下記アドレスまで

日本健康心理学会事務局 < jahp-post@bunken.co.jp >

メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで

広報委員会 < jahp-ML@bunken.co.jp >

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます

<http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html>